

第46号

令和4年2月 加須市立図書館 編集·発行

特集①:宇宙に目を向けて



昨年10月から今年の1月にかけて市内4図書館で実施した資料展示『ワールドツアーin 図書館』はご覧いただけましたか?

旅行がままならない中、昨年は、地球を飛び出して、民間人の宇宙旅行や JAXA (宇宙航空研究開発機構)の13年ぶりの日本人宇宙飛行士候補者募集など、宇宙に目を向けることが多くなってきました。

そこで、宇宙に関する本や読み物などの本を紹介します。

『女性と天文学』 ヤエル・ナゼ/著 北井 礼三郎/訳 頼 順子/訳 恒星社厚生閣



天文学に限らず、女性科学者にスポットが当たることはあまり多くないのではないでしょうか? 本書では、「暗黒物質」の存在の証拠を見つけたベラ・クーパー・ルービンや、天体までの距離を測る方法を見つけたヘンリエッタ・スワン・リービットなど現代の天文学に大きく貢献した女性天文学者について書かれています。

『超速でわかる!宇宙ビジネス』 片山 俊大/著 すばる舎

今、宇宙ビジネスに様々な企業が参入しています。カーナビのGPSや人工衛星、無重力で開発された新薬など、私たちの生活の中で宇宙産業がなくてはならない存在になっています。

本書では、現在行われている宇宙ビジネス事例 紹介や今後成長が見込まれる分野などがイラスト とともにわかりやすく説明されています。



『**星に願いを、そして手を。**』 青羽 悠/著 集英社



天体好きでプラネタリウムのある科学館に入り浸っていた中学生の幼なじみの男女4人は宇宙への憧れを語り、濃密な時間を共にします。

4人は、大人になって別々の道に進みますが、 科学館の館長の死と科学館の閉館をきっかけに 再会することになり、館長の謎を追うことに…。

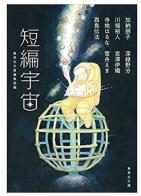
『3つのアポロ』 的川 泰宣/著 日刊工業新聞社

月面着陸を成功させたのは、飛行士だけの功績ではありません。

アポロ計画の始まりから、技術者、飛行士、科学者の3者は、対立したり、それを乗り越えて連携したりして計画を成功させました。 政治的背景や技術開発、宇宙飛行士のエピソードなども時系列で書かれているので、概要も理解しやすいです。



『**短編宇宙**』 集英社文庫編集部/編 集英社文庫



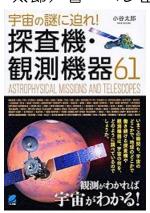
7人の作家が「宇宙」をテーマに書いた短編集で、家族的な話から本格的なSFまでジャンルは様々です。

その中の一篇『惑星マスコ』(寺地はるな/著)では、子どもの頃、周りになじめず「自分は異星人かも?」と考えていた主人公が、ある女の子や変わり者とされた男性との出会いによって、ネガティブに捉えていた考え方が変わっていきます

『宇宙の謎に迫れ!探査機・観測機器61』 小谷 太郎/著 ベレ出版

現在運用されている探査機や地上から宇宙を観測する巨大望遠鏡、「地球に接近した天体を観測する」や「太陽系以外の惑星を探す」といった特殊なミッションに特化された機器など、61の観測機器・設備の目的や成果がわかりやすく書かれています。

これらの機器が今後どのような発見をしてくれるか楽しみになります。



『スペース・コロニー宇宙で暮らす方法』

向井 千秋/監修・著 東京理科大学スペース・コロニー研究センター/編・著 講談社



宇宙空間で暮らすためには、重力や放射線による影響や、ライフラインの確保、閉鎖空間であることなど、多くの解決しなければならない問題が存在します。

それらに対し、ISS(国際宇宙ステーション)で実施している対策や、現在の科学技術を踏まえて、解決方法を模索していきます。

☆こちらもどうぞ☆

『月へ』 ロッド・パイル/著 最所 篤子/訳 三省堂

『トコトンやさしい宇宙ロケットの本』 的川 泰宣/著 日刊工業新聞社

『星くずたちの記憶』 橘 省吾/著 岩波書店

『天文学者に素朴な疑問をぶつけたら宇宙科学の最先端までわかったはなし』

津村 耕司/著 大和書房

『宇宙食』 田島 眞/著 西成 勝好/コーディネーター 共立出版

特集②:生誕100年

1922年生まれで今年生誕100年となる著名人から、4名ピックアップしてその著書を紹介します。おうち時間で読書三昧はいかがですか?

『愛に始まり、愛に終わる』 瀬戸内 寂聴/著 宝島社

☆『花に問え』や『源氏物語』などの 著作の他、エッセイなども多数執筆 しています。

『わが推理小説零年』 山田 風太郎/著 筑摩書房

☆『眼中の悪魔』や『甲賀忍法帖』など の忍法帖シリーズで有名ですが、『山 田風太郎育児日記』といった著作も。

『一日の苦労は、その日だけで十分です』 三浦 綾子/著

三浦綾子記念文学館/監修 小学館
☆『氷点』、『塩狩峠』などの名作は、 キリスト教の信仰や人間の愛が土台 になって書かれています。

『私が日本人になった理由』 ドナルド・キーン/著 PHP研究所

☆日本の古典など日本文学を世界に発信したほか、『明治天皇』『渡辺崋山』 などの伝記や文芸評論を執筆。

2月

В	月	火	水	木	金	土
		1 ×	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 ^	15 △	16	17	18	19
20	21	22 △	23	24 ※	25 ※	26 ※
27 ※	28 A					

3月

В	月	火	水	木	金	土
		1 △※	2 *	3 ■	4	5 ■
6 ■	7 ×	8 ■	9	10	11	12
13	14 ^	15 △	16	17	18	19
20	21	22 ×	23	24	25	26
27	28	29	30	31 ×		

4月

.,,						
В	月	火	水	木	金	±
					1	2
3	4	5 △	6	7	8	9
10	11 A	12 △	13	14	15	16
17	18 A	19 △	20	21	22	23
24	25 •	26	27	28	29	30

- ×…全館休館日 △…加須図書館休館日 ▲…騎西·北川辺·おおとね図書館休館日
- ※…騎西・おおとね図書館休館日 ■…加須・北川辺図書館休館日

特集③:昨年よく読まれた本地

昨年、加須市立図書館で読まれた本

~分類別ベスト1~

総 記(〇類):『メモの魔力』 前田 裕二/著 幻冬舎

哲学(1類):『嫌われる勇気』 岸見 一郎/著 古賀 史健/著 ダイヤモンド社

歴史・地理(2類):『埼玉 '21』 昭文社

社会科学(3類):『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』ブレイディみかこ/著 新潮社

• 自然科学(4類):『養老先生、病院へ行く』 養老 孟司/著 中川 恵-/著 エクスナレッジ

エ 業(5類):『もっと、やめてみた。』 わたなべ ぽん/著 幻冬舎

・産 業(6類):『切るナビ!庭木の剪定がわかる本』 上条 祐-郎/著 NHK出版

芸 術(7類):『大家さんと僕』 矢部 太郎/著 新潮社

・言語(8類):『暮らしを変える書く力』 一田 憲子/著 KADOKAWA

・文 学(9類):『そして、バトンは渡された』 瀬尾 まいこ/著 文藝春秋

●特別整理による休館

図書館資料の点検のため、下記の期間は休館となります。

ご利用の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

【騎西・おおとね館】 2月24日(木)~3月 2日(水)

【加須・北川辺館】 3月 3日(木)~3月 9日(水)

●やってみよう家読(うちどく)

「家読(うちどく)」は、「家庭読書(家族読書)」の略語で、家族みんなで読書をすることでコミュニケーションを深める読書活動です。

子どもを中心に家族みんなで同じ本を読み、

その本の感想を話し合います。

「おうち時間」が増えた今、 家族でお互いのお気に入りの本

を語り合ってみせんか?

本を選ぶ

本を読む

感想を話し合う

【お問い合わせ】

● 加須図書館 中央2-4-17 電話:0480-61-8200

● 騎西図書館 根古屋633-10 電話:0480-73-3178

● 北川辺図書館 麦倉1473-1 電話:0280-62-4400

● 童謡のふる里がおとね図書館 琴寄 5 9 7 - 1 電話:0480-78-2211

☆図書館WebサイトURL: https://www.library.kazo.saitama.jp/